

産社 Journal

長野市立長野高等学校 1年産社係(2組)

◇地域まるごとキャンパス

「ながの地域まるごとキャンパス」は、高校生や大学生が地域活動を通して、自分と地域の人たちとの繋がりを身近に感じ、長野の魅力を知る目的で行われています。5/8(木)に昨年度参加した2人の先輩からお話をいただきました。「ジェンダーについて」と「ヒロシマの過去を学び平和を考えよう」というテーマで学びを深めたようです。「大人や他校の高校生との関わりから、大きな刺激を受けた」という言葉がとても印象に残っています。



◇さんきゅう倉田さん 講演会

さんきゅう倉田さんはユニークな経歴の持ち主です。2020年に東京大学の受験を決意し、3年後に合格をしています。東京大学に入学する前は、東京国税局に入局し、NSC 東京校にも入学しています。東大受験3年目には「1日14時間勉強をした。お風呂に入っている時、寝る前、食事の時も暗記すべきものを脳の中で回していた」と仰っていました。年齢や環境にとらわれず、学びを続ける姿勢に心を動かされました。私も、すぐに諦めず、何度も挑戦していきたいと思いました。倉田さんの経験を丁寧にお話ししていただき、自分の将来について考える良いきっかけになりました。

◇社会人キャリアトークと産社の授業

5/24(土)に社会人キャリアトークがありました。私は、寺島陸斗さんからお話を聞きました。心に響いたWordは「全てライフでありワークである」です。趣味が仕事に繋がっていくこともあり、そういう視点で職業を考えたいと思いました。

5/29と6/5の6時間目産社の授業では、世の中にはどんな仕事があるか調べ、私たちはどんな仕事に就きたいか、深く考える内容でした。これからの時代は「仕事の踏みかえ」をうまくする事が必要なようです。つまり、環境やタイミングで仕事を変えていく事も重要だと学びました。また、現在存在している職業だけでなく、今ある仕事の間と間に私たちがユニークな仕事をつくっていく事も必要なようです。そして、クラスメイトと情報を共有でき有意義な時間になりました。班でグループワークをしましたが、私が調べた職業とは異なる仕事をたくさん知る事ができました。

